

2005 年 6 月 2 日

各 位

社団法人 日本顕微鏡学会

日本顕微鏡学会学会賞(瀬藤賞)受賞候補者推薦ご依頼

拝啓 時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は本会のため格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本会では毎年電子顕微鏡の基礎および応用研究ならびに技術の進歩発達に関し、卓抜なる成果を挙げた方に日本顕微鏡学会学会賞(瀬藤賞)を贈り、その功績を表彰しております。

つきましては、本年も 2006 年度(第 50 回)授賞につき適当な候補者をご推薦くださるようお願い申し上げます。

ご参考までに日本顕微鏡学会学会賞(瀬藤賞)規定を裏面に記載いたします。

敬具

記

推薦書提出期限

2005 年 7 月 11 日

以上

日本顕微鏡学会学会賞（瀬藤賞）候補者推薦書

（2006年度）

年 月 日提出

業績題目				部門	A $\left\{ \begin{array}{l} \textcircled{1} \\ \textcircled{2} \\ \textcircled{3} \end{array} \right.$, B, C
受賞候補者	氏名		所属		
	住所				
推薦理由					

所 属
推薦者
氏 名

注意 1. 推薦部門を丸で囲んで下さい。（各部門の内容は裏面参照）

a: 顕微法基礎（①装置・理論など；②生物・非生物の観察技法など；③生物・非生物の試料作製技法など）

b: 応用研究（生物）

c: 応用研究（非生物）

2. 締切日
3. 送付先

2005年7月11日

〒112-0012 東京都文京区大塚3-11-6
大塚三丁目ビル

FAX. 03-5940-7980

社団法人 日本顕微鏡学会

日本顕微鏡学会学会賞（瀬藤賞）規定

- 第 1 条 顕微鏡の基礎および応用研究ならびに技術の進歩発達に関する功績を顕揚するために日本顕微鏡学会学会賞（瀬藤賞）を設定する。本賞は、顕微鏡学において相当期間にわたって高い水準の業績を挙げることににより、本学会に貢献した功績の顕著な個人に与えられる賞である。
- 第 2 条 受賞者は本会会員とする。
- 第 3 条 賞は賞状および賞牌とする。
- 第 4 条 業績の一部に共同研究者があっても、原則として単独受賞とする。
- 第 5 条 受賞は毎年 4 件以内とする。
- 第 6 条 受賞者の選考は別に定め日本顕微鏡学会学会賞（瀬藤賞）選考内規により、選考委員が行う。
- 第 7 条 会長は第 6 条の規定による選考結果の報告を受け、これを理事会に諮り、受賞者を決定する。
- 第 8 条 日本顕微鏡学会学会賞（瀬藤賞）の授賞は通常総会において行なう。
- 第 9 条 受賞者は、学会に受賞業績の発表を行なうものとする。
- 第 10 条 本賞に関する経費は一般会計中から支出する。

〔日本顕微鏡学会学会賞（瀬藤賞）各部門内容〕

〔A〕 部門：全く新しい技法または新しい研究分野（*1）への電顕法の応用、および全く新しいかまたはそれに準ずる装置の開発（*2）を対象とする。この際、大型装置のみについては、個人以外に、特に「グループ」を対象とすることが出来る。ただし、グループが対象となった場合には必ず「グループ賞」であることを明記すると同時に、2 名以内の代表者を選び、受賞は個人賞と同様に 1 装置当たり 1 件のみとする。

なお、この部門では、電子以外にも顕微法または微小分析法としての機能を有する手法およびその装置の開発（*3）をも対象とすることが出来る。

〔B〕 部門：生物学全般についての電顕法を中心とした顕微法および微小分析法に関する基礎とその応用を対象とする。

〔C〕 部門：非生物学全般についての電顕法を中心とした顕微法および微小分析法に関する基礎とその応用を対象とする。

（注）

* 1：新しい研究分野とは、高分子、セラミックス、臨床医学などへの画期的応用を始め、未だ顕微法が応用されていない分野への応用を対象とする。

* 2：装置に関しては、単に従来法の延長としてではなく、我が国が世界に先駆け、または世界に誇る画期的性能を発揮したものを対象とする。

* 3：〔A〕部門では、STM、FIMを始め、電子以外の光、中性子、X線、超音波などを用いた手法をも対象とする。

日本顕微鏡学会学会賞（瀬藤賞）受賞者および題名一覧

第 1 回 昭和 31 年度（1956 年）

- 1 金谷光一 電子顕微鏡の結像系の性能向上に関する研究 2 東 昇 電子顕微鏡による細菌学的及びウィルス学的研究 3 日比忠俊 シャドウイング法に関する研究 4 深見 章 レプリカ法に関する研究

第 2 回 昭和 32 年度（1957 年）

- 5 只野文哉 電子レンズの収差除去に関する研究 6 安澄権八郎 染色体並に精子に関する電子顕微鏡的研究 7 水渡英二 電子顕微鏡回折法の微結晶への応用研究 8 伊藤一夫・本庄五郎 試料低温冷却装置

第 3 回 昭和 33 年度（1958 年）

- 9 菅田栄治 電子顕微鏡の性能向上特に電子銃の改良に関する研究 10 山田英智 中心子並びに眼球網膜の電子顕微鏡的研究 11 小川四郎・渡辺伝次郎・渡辺 宏・孤田孜 合金規則格子に於ける長周期構造の直接観察 12 小林恵之助・藤原 忠 超薄切片の理論的研究

第 4 回 昭和 34 年度（1959 年）

- 13 上田良二 電子顕微鏡の形像に関する研究 14 高橋 昇 直接法に依る合金薄膜の電子顕微鏡的研究

第 5 回 昭和 35 年度（1960 年）

- 15 渡辺 宏 電子線のエネルギー損失に関する研究 16 深井孝之助 インフルエンザ・ウィルスの電子顕微鏡による研究 17 橋本初次郎 電子顕微鏡による結晶成長の研究

第 6 回 昭和 36 年度（1961 年）

- 18 渡辺陽之輔 電子顕微鏡による細胞質の構造に関する研究 19 佐々木中二・上田隆三 金属の酸化還元に関する電子顕微鏡的研究

第 7 回 昭和 37 年度（1962 年）

- 20 谷 安正・榊 米一郎・小林恵之助・島津新一・只野文哉 超高圧電子顕微鏡の開発 21 武谷健二・小池聖淳 抗酸菌の電子顕微鏡的研究 22 西山善次・清水謙一 金属薄膜によるコルテンサイト変態の電子顕微鏡的研究 23 串田 弘 包埋法の研究

第 8 回 昭和 38 年度（1963 年）

- 24 日比忠俊・高橋 昭・丸勢 進 電子顕微鏡におけるポイントッドカソードの開発 25 浜 清 電子顕微鏡によるシナプスの微細構造の研究 26 吉田 鮎 電子顕微鏡によるアルミニウムの格子欠陥の研究 27 坂田茂雄 マイクログリッド技術の開発とそれによる分解能判定技術の向上

第 9 回 昭和 39 年度（1964 年）

- 28 孤田 孜 金の(111)面の $2.35 \text{ \AA}$ 格子像の観察 29 黒住一昌 分泌の形態学に関

する電子顕微鏡的研究 30 植田 夏 有機半導体結晶薄膜の電子顕微鏡的研究

第 10 回 昭和 40 年度 (1965 年)

31 堀 豊太郎・岩永政也・坂本吉男・木村博一・片桐信二郎・西垣正之 高性能 500KV 電子顕微鏡の完成 32 永野俊雄 精集に関する電子顕微鏡的研究 33 幸田成康・松浦圭助・根本 実 析出現象ならびに析出物と転位との相互作用の研究

第 11 回 昭和 41 年度 (1966 年)

34 芦沼寛一・渡辺 勝・大沼嘉郎・赤堀 宏 高性能電子顕微鏡の設計と操作法の容易化 35 小田琢三 ミトコンドリア膜および小腸上皮微絨毛膜の分子構造と生化学的機能 36 水平敏知 ラジオオートグラフィーの電子顕微鏡生物試料への応用

第 12 回 昭和 42 年度 (1967 年)

37 市ノ川竹男 磁界型電子速度分析器の考案と開発 38 保坂康弘 ウィルス粒子の微細構造に関する電子顕微鏡的研究 39 田岡忠美・藤田広志 超高圧電子顕微鏡の金属学への応用 40 矢田慶治 軸上照射法による高分解能像の撮影

第 13 回 昭和 43 年度 (1968 年)

41 渡辺 勝 (日本電子 K. K. 1000KV 電子顕微鏡グループ) 1000 KV 電子顕微鏡の開発 42 片桐信二郎 (K. K. 日立製作所 1000KV 電子顕微鏡グループ) 1000KV 電子顕微鏡の開発 43 本陣良平 黄卵粒蛋白分子の高次結晶構造

第 14 回 昭和 44 年度 (1969 年)

44 川勝久三 電子レンズの性能向上に関する研究 45 根井外喜男 電子顕微鏡による生物試料の凍結および乾燥の観察 46 井野正三 金属蒸着粒子のエピタキシャル成長機構とその構造 47 加藤嵩一 複合高分子材料の構造研究に対する四酸化オスミウム固定染色法の開発と応用

第 15 回 昭和 45 年度 (1970 年)

48 神谷芳弘 電子顕微鏡像のコントラストに関する研究 49 金関 恵 Coated Vesicle に関する研究 50 井村 徹 テレビ付超高電圧電子顕微鏡による転位の動特性の研究

第 16 回 昭和 46 年度 (1971 年)

51 紀本静雄・橋本 寛・佐藤正幸・江口英郎 走査電子顕微鏡の開発とその性能向上 52 竹山太郎 合金の時効析出に関する電子顕微鏡的研究 53 石田洋一 金属結晶粒界の規則構造および粒界転位の研究

第 17 回 昭和 47 年度 (1972 年)

54 橋本初次郎・熊尾章宏・四本晴夫・小野昭成 分子および結晶内単原子の像観察 55 藤田恒夫・坂口 弘・徳永純一 走査電子顕微鏡による医学・生物学研究 56 美浜和弘 金属および合金微粒子の成長と構造に関する高分解能電子顕微鏡法による研究

第 18 回 昭和 48 年度 (1973 年)

57 小池絃民 強励磁対物レンズを利用した走査型電子顕微鏡法の開発研究 58 小川和朗 電子顕微鏡による酵素細胞化学の研究 59 田中敬一 走査電子顕微鏡のための生物

試料作製手技の開発と応用 60 田辺良美 電子顕微鏡によるメッキ膜の結晶成長と構造に関する研究

第 19 回 昭和 49 年度 (1974 年)

61 屋代雄三・中村勝吾 電解イオン顕微鏡の基礎 62 四方英四郎 植物ウィルスの電子顕微鏡的研究 63 紀本和男・西田 功 ガス蒸発法によって作られた金属超微粒子の研究

第 20 回 昭和 50 年度 (1975 年)

64 下山 宏 電子銃の基礎的研究 65 松本 明・野々村禎昭 高度かつ多様な電顕技術を駆使した生物の超微構造解析 66 桐谷道雄・吉田直亮 電子顕微鏡による点欠陥の移動度の測定 67 坂 公恭 動観察用付属装置の開発と結晶塑性の研究

第 21 回 昭和 51 年度 (1976 年)

68 赤堀 宏 多孔質アルミニウム酸化物被膜の電子顕微鏡的研究 69 西占 貢 凍結割断法の改良

第 22 回 昭和 52 年度 (1977 年)

70 俵 寿太郎・天児和暢・公文裕己 高分解能走査電子顕微鏡の微生物学への応用 71 下村義治 純金属中の点欠陥集合体の研究 72 安達公一 試料作製基礎技術に関する研究とその普及

第 23 回 昭和 53 年度 (1978 年)

73 市川 厚・市川 操 唾液腺の分泌機能に関する電子顕微鏡的研究

第 24 回 昭和 54 年度 (1979 年)

74 石川春律 細胞運動性の形態的基礎に関する電子顕微鏡的研究

第 25 回 昭和 55 年度 (1980 年)

75 外村 彰 電子線ホログラフィーに関する研究 76 川田十三夫 細菌細胞の表層構造に関する電子顕微鏡的研究 77 飯島澄男 高分解電子顕微鏡法による結晶構造の解析および格子欠陥の観察 78 鈴木昭男 電子顕微鏡生物試料作製技術の改良と応用

第 26 回 昭和 56 年度 (1981 年)

79 裏 克己・藤岡 弘 ストロボ走査電子顕微鏡の開発と半導体素子への応用 80 藤田尚男 甲状腺の分泌機能に関する電子顕微鏡的研究 81 大隅正子 酵母細胞の電子顕微鏡的研究 82 八木克道・高柳邦夫・小林国男 超高真空電子顕微鏡による薄膜及び固体表面の観察

第 27 回 昭和 57 年度 (1982 年)

83 安田寛基 肺の微細構造および肺胞表面活性物質に関する研究 84 堀内繁雄 超高電圧高分解能電子顕微鏡による無機化合物結晶の微細構造の解析 85 平林 真・平賀賢二・進藤大輔 超高電圧電子顕微鏡による合金構造の高分解能観察と金属学への寄与 86 外崎 昭・鷲岳 宏 双面レプリカ法の改良と応用

第 28 回 昭和 58 年度 (1983 年)

- 87 田中通義 収束電子回折法の開発と改良 88 広沢一成 高解像電子顕微鏡オートラジオグラフィーによるビタミンA貯蔵細胞系に関する研究 89 岡田正和 電子顕微鏡による直鎖分子性物質の結晶成長と表面構造に関する研究

第 29 回 昭和 59 年度 (1984 年)

- 90 志水隆一 電子散乱励起過程の電算機シミュレーションによる研究 19 上原康生 神経終末の立体構造に関する研究・特に組織消化法による非遊離面の走査電顕的観察 92 渡辺伝次郎 超高電圧電子顕微鏡による磁区観察

第 30 回 昭和 60 年度 (1985 年)

- 93 嶋田 裕 培養筋芽細胞の微細構造に関する研究 94 小村幸友・北野保行 高分解能電子顕微鏡によるラーベス相の欠陥観察 95 広川信隆 急速凍結・ディープエッチング法による細胞膜および細胞骨格の立体微細構造の研究

第 31 回 昭和 61 年度 (1986 年)

- 96 日比野倫夫 磁界型電子レンズの球面収差の研究 97 山元寅男 消化管細胞の吸収機構に関する電子顕微鏡的研究 98 長倉繁磨 鉄-炭素および鉄-酸素系合金の超高圧高分解能電子顕微鏡による研究 99 安田健次郎・渡辺慶一 電子顕微鏡免疫組織化学的手技の開発と応用

第 32 回 昭和 62 年度 (1987 年)

- 100 石塚和夫 高分解能電子顕微鏡における結像理論の研究 101 中井益代 ヒト関連レトロウイルスの超微形態学的研究 102 塩尻 詢 無機材料薄膜の構造と結晶成長の電子顕微鏡的研究 103 平野 寛 レクチン法による組織細胞化学的研究

第 33 回 昭和 63 年度 (1988 年)

- 104 早川和延・小池和幸 スピン偏極走査電子顕微鏡の開発ならびに磁性研究への応用 105 月田承一郎・月田早智子 細胞接着装置の分子構築に関する電子顕微鏡的研究 106 小林隆史 分子像の直接観察による有機結晶の構造不整の研究 107 藤吉好則 電子線照射損傷に関する実験的研究

第 34 回 平成元年度 (1989 年)

- 108 永谷 隆・斎藤尚武 電界放出電子銃を装備した高分解能走査電子顕微鏡の開発と実用化 109 山本敏行 電子顕微鏡組織学の発展への寄与、特に感覚器の微細構造に関する研究 110 市野瀬英喜 高分解能電子顕微鏡法による界面の研究 111 酒井俊男 超薄切片技術の開発とその応用研究

第 35 回 平成 2 年度 (1990)

- 112 齋藤多久馬 電子顕微鏡レベルにおける酵素組織化学的研究——網膜を中心として—— 113 木下智見 超高電圧電顕法による合金およびセラミックスの照射誘起現象

第 36 回 平成 3 年度 (1 9 9 1 年)

- 114 谷中隆志 高性能対物レンズおよびナノメータプローブ用照射レンズ系の開発
- 115 新居志郎 Herpes virus の細胞内増殖機構に関する電子顕微鏡的研究
- 116 村上 悟 光合成器官および光合成膜の機能と微細構築に関する電子顕微鏡的研究
- 117 友清芳二 収束電子回折法による材料の定量的研究

第 37 回 平成 4 年度 (1 9 9 2 年)

- 118 永田文男 超高圧電子顕微鏡の応用分野の開発
- 119 緒方卓郎 骨格筋細胞の電子顕微鏡的研究
- 120 森博太郎 超高圧電子顕微鏡法による非平衡相の生成とその制御に関する研究

第 38 回 平成 5 年度 (1 9 9 3 年)

- 121 森 道夫 肝細胞骨格の細胞病理学的研究
- 122 寺崎 治 電子顕微鏡によるゼオライトの微細構造の研究

第 39 回 平成 6 年度 (1 9 9 4 年)

- 123 臼倉治郎 急速凍結技法の開発と細胞構造解析への応用
- 124 山科正平 唾液腺分泌細胞の構造と機能に関する電子顕微鏡組織化学的研究
- 125 板東義雄 分析電子顕微鏡法によるセラミックスの微構造解析

第 40 回 平成 7 年度 (1 9 9 5 年)

- 126 岩槻正志 温度可変走査トンネル顕微鏡の開発
- 127 高田邦昭 糖輸送体 (グルコーストランスポーター) の細胞生物学的研究
- 128 田中信夫 MgO 単結晶中の原子クラスターの電子顕微鏡学的研究
- 129 松井良夫 酸化物高温超伝導体の構造解析

第 41 回 平成 8 年度 (1 9 9 6 年)

- 130 鷹岡昭夫 曲面陰極電子銃の軌道解析理論
- 131 小澤英浩 硬組織の石灰化に関する微細構造学的研究
- 132 高橋平七郎 超高圧電子顕微鏡法によるイオン・電子照射下における格子欠陥と溶質原子の相互作用に関する研究

第 42 回 平成 9 年度 (1 9 9 7 年)

- 133 生田 孝 能動型画像処理法の開発と高分解能電子顕微鏡法への応用
- 134 藤本豊士 細胞膜の構造と機能に関する電子顕微鏡的研究
- 135 竹田精治 半導体における格子欠陥の電子顕微鏡法による研究

第 43 回 平成 10 年度 (1 9 9 8 年)

- 136 津野勝重 高性能電子レンズ及びエネルギーフィルターの開発
- 137 黒岩常祥 ミトコンドリアと色素体の分裂装置の発見—細胞オルガネラの分裂・遺伝機構の解明による生物学への寄与—
- 138 和氣健二郎 肝臓の微小循環系“類洞”の細胞構築と機能の解明
- 139 弘津禎彦 電子顕微鏡による非品質合金の構造解析

第 44 回 平成 11 年度 (1999 年)

- 140 Ondrej Krivanek 電子顕微鏡の周辺機器の開発と応用に関する研究
- 141 山本直紀 透過型電子顕微鏡によるカソードルミネッセンスの研究
- 142 藤本 和 フリーズ・レプリカ法を用いた生体膜分子の局在解析
- 143 堀田善治 分析電子顕微鏡 X 線微小部定量分析法の開発と応用

第 45 回 平成 12 年度 (2000 年)

- 144 寺内正己 高分解能電子エネルギー損失分光電子顕微鏡の開発と応用
- 145 高井義造・市橋幹雄 実時間焦点位置変調電子顕微鏡の開発
- 146 長船哲齊 免疫電顕法とコンピュータ・グラフィックスによる光合成蛋白質分子の局在と輸送経路に関する研究
- 147 古屋一夫 イオン・電子を用いたその場観察・加工法による材料ナノプロセスの研究

第 46 回 平成 13 年度 (2001 年度)

- 148 近藤行人 新しい顕微機能を組み込んだ、高分解能・超高真空電子顕微鏡の開発
- 149 谷城康真 超高真空・反射電子顕微鏡観察技法の開発と、清浄表面への原子吸着機構への応用
- 150 瀬口春道 多彩な電顕組織化学技法を駆使した細胞膜機能の解明
- 151 松村 晶 合金、無機化合物の部分的規則状態解析のための定量電子回折技法の確立

第 47 回 平成 14 年度 (2002 年度)

- 152 市川昌和 超高真空走査反射電子顕微鏡の開発とその表面物理工学への応用
- 153 村田長芳 複合糖質組織化学による消化管構成細胞の分化・増殖に関する研究
- 154 本間芳和 超高真空その場観察用 SEM の開発とその結晶成長過程研究への応用
- 155 丹司敬義 高干渉電子線手法の磁性材料研究への応用

第 48 回 平成 15 年度 (2003 年度)

- 156 楠見明弘 一分子観察・操作法の開発と細胞膜ドメイン構造の解明
- 157 若林健之 アクチン・フィラメントの三次元構造に基づく筋収縮制御の分子機構の研究
- 158 柴田洋三郎 ギャップ結合の微細構造と分子生物学的研究
- 159 倉田博基 電子エネルギー損失分光法及びマッピング法の基盤開発と材料局所状態解析への応用

第 49 回 平成 16 年度 (2004 年度)

- 160 津田健治 収束電子回折法による精密結晶構造・電子密度解析法の開発と応用
- 161 井出千束 神経再生の超微形態学的研究
- 162 平山 司 電子波干渉による電場・磁場観察手法の開発と材料・デバイスの解析への応用

第 50 回 平成 17 年度 (2 0 0 5 年度)

- 163 長谷川修司 4 探針型走査トンネル顕微鏡の開発と表面・ナノ電子輸送の研究
- 164 末永和知 電子線エネルギー損失分光を用いた単原子元素分析に関する研究
- 165 桑野範之 電子顕微鏡法による化合物半導体材料の微細構造解析と評価